

ダビデとヨアブ

イスラエル軍所属メシアニックジューの兵士達のための、祈りの要請

2007年12月12日 アシェル・イントレーター

聖書の歴史の中でイスラエル軍は重要な役割を果たしてきましたが、将来の、終わりの日の預言においても同様です。

イエシュアとイスラエルの軍隊との関係について述べられている、これらの聖書のみことばを検討して下さい。

ヨシュア記5章には、イエシュア(イエス)の受肉前、YHVH(注)の軍隊の総司令官としての姿を見ることができますが、彼の背後には軍隊はいませんでした。

(注)「YHVH」: 主の御名のヘブライ語4文字をアルファベットに置き換えたもの。文語体聖書では「エホバ」、学者の間では「ヤーヴェ」と翻訳されているが、主の御名を口にすることは禁じられているので、ユダヤ人の間では「アドナイ(主)」あるいは「ハシム(主の御名)」が使われている。

第二列王記6章には、預言者エリシャはしもべの目が開かれるよう祈っています。しもべは、主の天の軍隊を見ることができましたが、総司令官の姿はありませんでした。

黙示録19章には、天の軍隊と総司令官が、天より下ってきますが、地上での戦闘はありませんでした。

ゼカリヤ書14章には、主の軍の総司令官と、エルサレムをめぐる地上の戦いを見ることができませんが、天の軍隊を見ることはできません。

第二サムエル15章には、天の御使の軍隊と地上のイスラエル軍の連携を見ることができます。

多くの終わりの日の預言は、イエシュアの再臨を、諸国がエルサレムを攻撃する大いなる戦いのクライマックスとして指し示しています。この終末的戦争には、天の側面と地上の側面があります。イエシュアの天の軍隊は、イスラエルの地上の軍隊とつながっているのです。

そのようなつながりの中で、重要なのは、イスラエルのユダヤ人兵士の集団(特に将校たち)で、同時にイエシュアの信者である人たちの存在です。イスラエルにいるほとんどすべてのメシアニックジューは、18歳になると兵役につきます。

過去10年から20年の間、メシアニックジューは軍隊で、忠実で、愛国心あふれ、勤勉な兵士たち

であるという良い評判を勝ち得ています。軍隊は宗教的な所属に基づかず、兵士たちの能力の質によるので、メシアニックジューは言葉によらず、行動の特性と品位によって評価される客観的な場所を見いだしたのです。

その反面、軍隊は「霊的な」環境ではまったくないということです。戦争の本質そのものにより、軍隊は武力の「サブカルチャー」であり、愛や感性に基づきません。これは、生まれ変わったメシアニックジューの兵士達を難しい立場、板挟みな状態に置きます。時には世俗的、冷酷、さらに残酷である他の兵士たちの中で、彼らは柔和と平和という霊的な実を实らすよう召命されているのです。

彼らが窮地に立たされていることは、ダビデとヨアブとの関係を思い起こさせます。ダビデは叫びました。「ツェルヤの子らであるこれらの人々は、私にとって手強すぎる。」(第二サムエル3章 39節)なぜこのようなやりとりが聖書に記載されているのか、突然私は理解しました。これは私たちのための前例として与えられたのだと。ダビデは兵士として「霊に満たされた信者」の例であり、ヨアブは「霊的でない」兵士の例です。

ヨアブとヨアブのような兵士たちは正しい心によって動機付けられてはいませんが、主のご計画を達成させるために主によって用いられました。ヨアブは軍を率いて主のために多くの勝利に導いており、エルサレム占領(第一歴代誌 11 章 6 節)においても活躍しました。その一方で、ヨアブは二人の罪のない司令官を殺害し、最後にはダビデの息子ソロモンに対して謀反を企てました。(第一列王記1章)

私は、ダビデとヨシュアのような聖書のヒーローたちと並行して、現在のイスラエル軍に所属するメシアニックジューたちは、主の御国を地上にうち立てるための、イエシュアの再臨を促す霊的な戦いの最前線に立っていると信じています。

どうか以下の件につきまして、私たちと共に祈って下さい。

終わりの日の預言に書かれているように、イスラエル軍が神のご計画を成就することができるよう、神の導きがあることを。

メシアニックジュー個人の品位を証として、兵士たちの間にメシアであるイエシュアの福音が伝わることを。

メシアニックジューの兵士達が、祈りや聖書の学び、霊的な休息が得られるように。

イスラエル軍で現在従軍しているメシアニックジューの高級将校であるヘズィ・Iさんのために。

ハヌカの週での実りある宣教を私たちは神に感謝を捧げます。

クファ・サバにあるマヤン会堂でのハヌカ祭で、200人のメシアニックジューの大学生と青年達の全国集会において、リラン・Sさんが賛美を主導し、エリ・Bさんが集会を導き、ダニエル・Gさんがハヌカの祝祷を行い、フレディ・Iさんが短いメッセージを話し、全員で楽しみと交わりを味わいました。イスラエルでの、メシアニックジューの交流において、青年達の一致と霊性を神に感謝します。

全国青年集会は、ガリラヤ湖付近のカツイールで行われ、それは今まで開催された中で最高のもので、180人の若者とカウンセラーたちが参加しました。賛美はダビデ・Sさんとエリ・Cさんによって導かれ、メッセージはダニー・Sさん、マイク・Nさん、エイタン・S師、そしてアシェル・I師によって行われました。エイタン師の指導の元、スタッフたちは若者達に対してすばらしい務めを果たしました。メシアニックジューの共同体の中で10代の若者の集団は成長し、強められています。

イスラエルからの「イザヤ 19章のビジョン」代表団は、マイク・N師によって主導され、マイク師はトルコ人、アルメニア人、クルド人、元イスラム教徒のクリスチャンたちに対する宣教、分かち合い、そして「橋を架ける」活動を成功裏に終わらせて帰ってきました。トルコ人クリスチャンたちは、イスラエル人メシアニックジューとパレスチナ人クリスチャンたちとの間の一致の証に、心動かされています。

私たちは、地元の宣教活動、ヘブライ語での預言的賛美集会、弟子訓練、地方にメシアニック・コングリゲーションを設立すること、そして、イスラエルにいる聖徒たちに対する、積極的かつ戦略的な献げものについて、皆さんの祈りと支援を心から感謝しています。